

中宮中だより

No. 6

平成28年(2016年)7月20日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

さあ、夏休み！しっかり勉強しながら、ときには考えてほしいこと

何のために「勉強」するのだろうか？！

今日は終業式。明日から夏休みです。みんなはたぶん「やったー！！」といううれしい気持ちで一杯だろうと思います。しかし、反面、3年生は特にですが、計画的に勉強しなくてはというあせりもあるでしょう。もちろん、そうでなくでは困りますが。

ところで、みんなは「何のために勉強するのだろうか」って考えたことはありませんか。高校に入るため、将来のため、勉強しないと怒られるから・・・

その答えをここで示すことは出来ません。なぜなら、答えは一つではないし、人それぞれで違っているだろうし、自分自身でいずれ見つけていかなければならないことだと思うからです。

ただ、知っておいてほしいことがあります。それは、勉強したくても出来なかった人、出来ない人がたくさんいるということです。少し前の調査ですが、62億7700万余りの地球上の人口のうち、字が読めない人が8億人以上、学校に行けない子どもは、1億人以上いるのです。飢餓、貧困、病気、差別、戦争などがその原因です。

この日本でも、戦争や差別、貧困のために子どもどころ学校に行けず、今になって、ようやく夜間中学校や識字教室へ通って勉強しているお年寄りが少なからずおられます。

そのなかの一人の方が、覚えてたの字で書いた手紙にこんな一節があります。「夕やけを見てもあまりうつくしいとおもわなかったけれど、じをおぼえてほんとうにうつくしいと思うようになりました。」(「にんげん」より抜粋)

文字で「うつくしい」とあらわすことで自分の心を確認できた喜びが伝わります。この人にとっての勉強は、きっと差別・貧困によって奪われた、人としての権利や感性を取り戻す闘いだったのかもしれない。

もうひとつ、前回の生徒集会で、この7月の七夕の日に日本人宇宙飛行士大西卓哉さんが宇宙に飛び立ったことにちなんで、宇宙飛行士になるために一番大切なことは何か？というお話をしました。科学の知識や飛行士としての技能、体力、精神力・・・とたくさんの試練を乗り

越えて過去4度も宇宙での長期滞在を経験した、あるベテラン日本人宇宙飛行士の口から出た答えは「人間性」でした。決して広くない宇宙船の中で、3人で何ヶ月も過ごす・・・ケンカやトラブルを起こしている場合ではないし、かといって、ずっと互いに気を遣って過ごすのもしんどい。

互いに本音をさらけだしつつ、明るく楽しく付き合っていけるような「人間性」・・・相手の気持ちをお互いにしっかり分かり合い、何でも話し合える「心」・・・いくら勉強や訓練をして知識や技術があっても、その「心」がなかったら、たしかに狭い宇宙船の中で、長い間一緒に生活出来ないし、共同作業や研究も進みません。

そして、そんな「心」「感性」は、教科書の勉強だけでは身に付かないし、まして、テストの点数で測れるものではありません。それこそ、毎日の生活の中で、互いに身に付けていくものでしょう。様々な個性をもった人が集まる「学校」は、まさにそのための格好の場所だと言えます。

先日、大学の先生から「インターネットの危険性」についてのお話をみんなで聴きました。お話の中でLINEによるトラブルの例が紹介されていました。

クマのぬいぐるみももらって、「このクマかわいくない」と書き込んで、仲間から無視されるようになったという話。仲間の誰もが疑問を抱かず一斉に無視するという恐ろしさ。

互いに顔を突き合わせて普通に話せば何の問題もなかったはず。人と人の本当の関わり、つながりは、SNS上だけでは決して生まれません。こういったこともまた、人間として学ばなければならない大切なことの一つだと思います。

最後に、知っている人も多いと思いますが、2012年、15歳のときに過激派によって狙撃されたが奇跡的に一命をとりとめ、後にノーベル平和賞を受賞したパキスタン人の女性マララさんのスピーチの有名な一節を紹介しておきます。彼女は11歳の頃に、テロによって次々と学校が破壊されたことに怒り、教育を受ける権利を求めて抗議活動を続けていました。

「One child, one teacher, one pen and one book can change the world.

Education is the only solution.・・・」

夏休み、健康に気を付け、しっかり勉強して部活動にも全力で取り組んでください。そして、2学期、元気一杯のみんな、一段と成長したみんなに会えることを楽しみにしています。